



令和7年度 森町立旭が丘中学校 グランドデザイン

校訓

礼儀 勉学 勤労

<国の基本方針>

- 生きる力（知・徳・体のバランスのとれた力）の育成
 - ・確かな学力
 - ・豊かな心
 - ・健やかな体

<県の基本理念>

- 「有徳の人」の育成
 - ・才を磨き、自立を目指す人
 - ・自他を大切にしながら徳を積む人
 - ・社会や人のために貢献する才徳兼備の人

<森町の教育>

- 明日の森町を築く心豊かな人づくり
 - ・「こころざし」をもち、たくましく生きる子の育成

《願う学校像》

- 「ええら旭が丘中学校」（チーム旭が丘）生徒や教職員が生きて生きている学校
- 「おらが旭が丘中学校」（チーム旭が丘）保護者や地域に安心感を与えられる学校

《目指す生徒像》

- 素直で品格のある生徒 **「礼儀」**
- 考え踏み出す生徒 **「勉学」**
- 自他に優しく協働のある生徒 **「勤労」**

『家庭・地域の願い』

- ・楽しく充実した学校生活
- ・明るいあいさつ
- ・思いやりの心
- ・学力や体力の向上
- ・学校との厚い信頼関係

『生徒の課題』

- ・学力の向上
- ・自ら考え判断し、主体的に行動
- ・自尊感情・レジリエンスの高揚（自己肯定感の醸成）

学校教育目標

自ら学び 共に歩み 未来を拓く 生徒

～我がことに問い、しなやかに挑む生徒の育成～

P

学校経営構想
社会に開かれた教育課程
学校運営協議会の承認

即改善 創造性・スクラップ&ビルド(再構築)

A

成果と課題の把握
ステージ毎の改善
次年度への反映

旭中文化

3つの柱と2つの学校自慢

- ・あいさつ
- ・歌声
- ・学習訓
- ・ボランティア活動
- ・清掃

旭中SDGs

総合的な学習の時間

- ・1年「福祉とSDGs」
- ・2年「働くこととSDGs」
- ・3年「社会参画とSDGs」

4つのステージ制によるPDCAマネジメントサイクル

「展望」ステージ

- (生活)
自ら進んで明るいあいさつをしよう
- (特別活動)
自分の新しい役割を理解するとともに、体育大会を通して集団づくりに参画しよう
- (学習)
基本的な学習習慣を確立しよう

「挑戦」ステージ

- (生活)
ルールやマナーを守り、規律ある生活をしよう
- (特別活動)
1ランク上を目指す学級や個人の目標を設定し努力しよう
- (学習)
学習方法を工夫し、授業や家庭学習を充実させよう

「団結」ステージ

- (生活)
時間を守り、場に応じた言葉遣いをしよう
- (特別活動)
飛躍祭の成功に向けた学級や個人の目標を設定し、仲間とともに協力しよう
- (学習)
自分の思いを表現し、話し合い活動を充実させよう

「自立」ステージ

- (生活)
感謝の気持ちを行動で示そう
- (特別活動)
自分の役割以外の仕事を手伝い、よりよい集団となつて次年度を迎えよう
- (学習)
次年度を見据えた学習の振り返りとまとめをしよう

安心・安全な学校 誰一人取り残さない教育の実現

評価指標

- (生活)
・自分から進んであいさつができる **90%**
・時と場に応じた言葉遣いができる **90%**
・整理・整頓や時間いっぱいの熱心な掃除ができる **90%**

- (特別活動)
・個人目標の達成に向けて継続的に努力することができる **90%**
・学級目標の達成に向けて一人一人が自らの力を発揮することができる **90%**
・将来の展望をもち、なりたい自分に向けて努力することができる **85%**

- (学習)
・学習方法を工夫し、改善することができる **80%**
・課題を我がこと(自分事)として捉え、学習することができる **75%**
・仲間との対話活動を通して自分の考えや思いをもち、発信することができる **85%**

D

計画的な教育活動の実践
知・徳・体のバランス

協働 生徒主体の活動 個に応じた指導・支援

C

学校評価
(生徒・保護者・職員)
学校運営協議会の評価

経営の基盤

学校（組織）力

教師（人間）力

学校運営協議会(CS)

P T A・地域力

あさひ（旭が丘中学校区）一貫教育「こころざしをもち、自ら学ぶ子の育成」

深い生徒理解 地域との連携・コミュニティスクール

表れの的確な見取りと分析 振り返り